

## MODIS・AMSR-Eデータ利用ワークショップ

主催：(独)宇宙航空研究開発機構 / (財)リモート・センシング技術センター

後援(予定)：水産海洋学会、(社)漁業情報サービスセンター

日時：2005年6月23日(木) 13:15~16:30 (6月24日に地球観測センターの見学を計画しております)

会場：(独)宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター

コンピナー： 為石日出生(漁業情報サービスセンター)、渡辺知弘(宇宙航空研究開発機構)

蔭山邦幸(リモート・センシング技術センター)

開 会 司会 二平 章(茨城県内水面水産試験場)

あいさつ： 山崎 孝(宇宙航空研究開発機構)

13:15~13:20

趣旨説明： 為石 日出生(漁業情報サービスセンター)

13:20~13:30

### セッション1 MODISを中心とした観測センサの利用例

座 長 安藤 朗彦(福岡県水産海洋技術センター)

1) 三重県における漁業情報の配信 13:30~13:45

久野 正博(三重県科学技術振興センター水産研究部)

2) MODISデータを用いた鉛直方向の水温、海色の推定 13:45~14:00

山本 義春(ビジョンテック)

3) 将来の米国海洋観測衛星計画 14:00~14:15

Stephen E. Borders(グローバルイメージング)

なお本講演には同時通訳が付きます。

質疑応答

14:15~14:30

休 憩

14:30~14:45

### セッション2 AMSR-Eを中心とした水温観測センサの利用例

座 長 浅沼 市男(東京情報大学)

4) 2004年の黒潮小蛇行にみるAMSR-Eデータの漁業への有用性 14:45~15:00

菊池 隆展(愛媛県水産試験場)

5) 海洋版GISの利用におけるAMSR-Eの役割 15:00~15:15

伊藤 喜代志(環境シミュレーション研究所)

6) AMSR-Eを活用した高精度の海況日報の作成について 15:15~15:30

山梨 旭輝・矢野 泰隆(漁業情報サービスセンター)

質疑応答

15:30~15:45

### 総合討論 衛星データの利用の拡大を考える(ディスカッション)

15:45~16:25

司会：為石 日出生(漁業情報サービスセンター)、伊藤 恭市(三重県漁業無線局)

話題提供：MODISデータの水産利用への活用：中村 元彦(愛知県水産試験場)

閉会挨拶： 松浦 直人(宇宙航空研究開発機構)

16:25~16:30

6月24日(金)

地球観測センター見学会

高坂駅9時45分集合(池袋発8時51分の急行森林公園行きで、高坂着9時45分)高坂駅よりバスによる送迎があります。地球観測センター見学者は参加申し込み時に必ず登録してください。